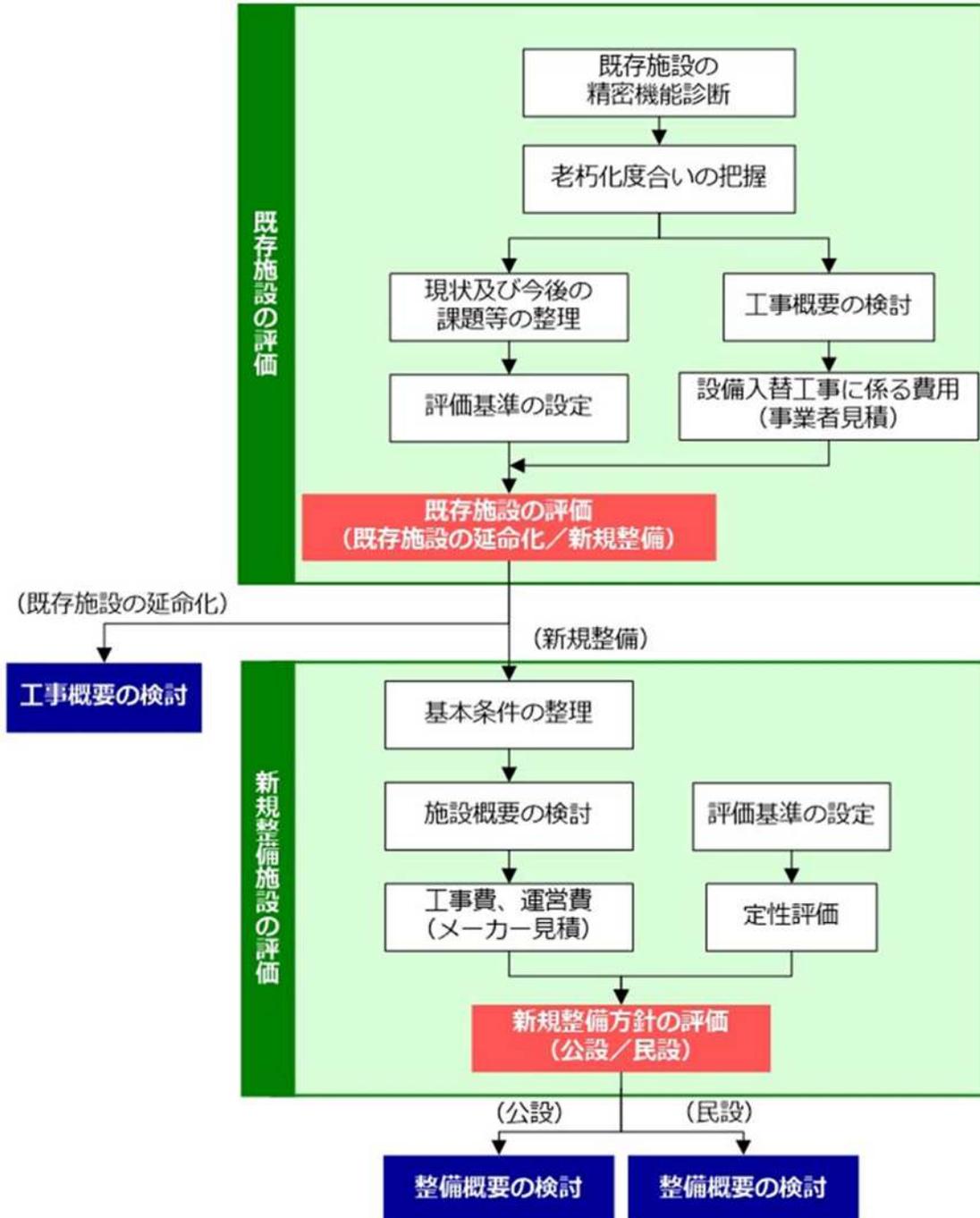


リサイクルセンター整備基本計画（案）について

1. 方針検討の流れ



2. 既存施設の評価

基本方針	評価項目	評価
基本方針 1	安定稼働	【×】性能が発揮できていない設備も確認できたため、安定的に稼働を行うことが困難である。
基本方針 2	資源化の継続	【×】将来の社会変動に対応できる設備ではないため、継続的な処理は困難である。
基本方針 3	長期的なごみ処理体制の確保	【×】全体的に劣化が進んでいるため、今後も長期的なごみ処理体制の確保が困難である。
	災害対応	【×】性能が十分でないため、平常時以上の受け入れは困難である。
既存施設の課題	敷地内安全性	【×】動線に不明確な箇所があるため、処理ラインに不安定さがある。
	建屋の構造的性	【△】大きな劣化はないが、設備の入れ替えに伴う耐震性が問題ないか確認する必要がある。

令和 4 年度及び令和 5 年度では、老朽化に伴う設備全体的な修繕が発生し、維持管理費が増加し、年間1億円以上かかっている状況であり、既存施設は、全ての項目に課題があることから、長期稼働を継続することが困難です。

3. 建設候補地の評価結果

項目	建設候補地① 恵庭市ごみ処理場の隣接空き地	建設候補地② 恵庭市リサイクルセンター隣接空き地
		
土地利用状況	【評価：◎】	【評価：△】
アクセス状況	【評価：◎】	【評価：○】
周辺建物状況	【評価：◎】	【評価：○】
災害危険度	【評価：○】	【評価：△】
その他制約	【評価：◎】	【評価：△】
評価結果	【◎：4、○：1、△：0】 搬入道路が土砂災害警戒区域や浸水区域となるが、別ルートでの搬入も可能であり、大きな問題がないため選定する。	【◎：0、○：2、△：3】 敷地が狭く旧焼却施設の解体撤去が必要であり、土砂災害警戒区域や浸水区域対策が必要など制約も多く選定しない。

4. 事業方針の評価

評価項目	ケース1(公設・公営)	ケース2(公設・ 長期 民営)	ケース3(民設・単年民営)	ケース4(民設・長期民営)
安定稼働	【○】	【○】	【○】	【○】
作業環境	【△】	【○】	【△】	【○】
住民対応	【△】	【○】	【△】	【○】
資源化の継続	【△】	【○】	【△】	【○】
環境学習の機会	【○】	【○】	【○】	【○】
事業費	【×】	【△】	【△】	【○】
長期的なごみ処理体制の確保	【△】	【○】	【×】	【○】
カーボンニュートラル	【△】	【○】	【○】	【○】
災害対応	【△】	【○】	【×】	【○】
市場性	【○】 (調査結果待ち)	【○】 (調査結果待ち)	【○】 (調査結果待ち)	【○】 (調査結果待ち)
	【○:2、△:6、×:1】 結果：採用しない 理由：長期的なごみ処理体制の確保に懸念があり、また資源化の継続が不安定であるため。	【○:8、△:1、×:0】 結果： 採用する 理由：事業費は高いが、長期運営の継続性に優れているなど、安定・安心・安全なごみ処理体制の確保ができる。	【○:3、△:4、×:2】 結果：採用しない 理由：長期的なごみ処理体制の確保が困難であり、また災害対応に難があるため。	【○:9、△:0、×:0】 結果： 採用する 理由：財政負担を考慮した、長期運営の継続性に優れているなど、安定・安心・安全なごみ処理体制の確保ができる。

5. 事業スケジュール(案)

事業項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11
既存リサイクル施設の移管	[Blue bar spanning R6 to R11]					
(1)本施設整備関連						
①施設整備基本計画の策定	[Blue bar]					移行
②生活環境影響調査		[Blue bar]				
(2)都市計画決定の変更		[Blue bar]	[Blue bar]			
(3)事業者募集関連						
①募集図書作成		[Blue bar]				
②事業者の選定			[Blue bar]			
(4)建設工事関連						
本施設の設計・建設工事				[Blue bar]		[Blue arrow pointing right]